

演劇等鑑賞会 茂山狂言会鑑賞会

募集内容

【日 時】 12月21日（日）〈昼の部〉13：30開演（13：00開場）
〈夜の部〉18：00開演（17：30開場）

【会 場】 JMSアステールプラザ中ホール

【募集人数】 昼の部 S席 25人 A席 10人 夜の部 S席 25人 A席 10人

【負担金】 S席 2,000円 A席 1,600円

昼の部

【演 目】 解説

福の神(ふくのかみ)

太刀奪(たちうばい)

粟田口(あわたぐち)

【あらすじ】 福の神(ふくのかみ)

毎年、大晦日に神社へ参詣する二人の男。例年通りに参詣し豆まきをする、どこからともなく福の神が現れ、御神酒を要求します。御神酒を差し出すと喜んで幸せの秘訣を授け大笑いして去っていきます。節分の豆まき行事は、もとは正月行事で、本作は朗らかな笑いを誘う縁起の良い名作です。曲中に出てくる松尾大社は酒神として信仰され、今も「福の神」の狂言が奉納されております。

夜の部

【演 目】 解説

八幡前(やわたのまえ)

因幡堂(いなばどう)

六地藏(ろくじぞう)

【あらすじ】 六地藏(ろくじぞう)

田舎者が辻堂に六地藏を安置したいと都で仏師を探しますがなかなか見つかることができません。そこへ現れたのは仏師だと嘘をついた都のすっぱ(詐欺師)、仲間の二人を呼び出し、六地藏に化けて田舎者をだますことに。地藏は6体すっぱは3人。さてどのようにして六地藏に化けるのでしょうか？

六地藏は地藏菩薩が六道の衆生を救済することから、京都伏見の大善寺などで古くから信仰されております。



「福の神」